

形質細胞性白血病の患者さまの診断および経過、治療に関する臨床データ

の研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

骨髄腫は形質細胞の悪性腫瘍である。一次性形質細胞性白血病は骨髄腫の中の非常に稀な病型のひとつで、骨髄腫診断の時点で末梢血での腫瘍性形質細胞が末梢血白血球数の 20%以上、あるいは末梢血腫瘍性形質細胞の絶対数が $2000/\mu\text{L}$ を超えるもの、と定義される。一般的に、通常の骨髄腫よりも急速な進行を来し生命予後は不良とされ、生存期間中央値は約 6 ヶ月とも言われている。近年、様々な新規抗骨髄腫薬が開発され、前向き臨床試験によってその有効性が確認され、以前よりも骨髄腫の患者さまの予後は著しい改善が得られているが、形質細胞性白血病はそれらの臨床試験では除外される場合がほとんどである。従って、形質細胞性白血病に対する最適な治療法は確立されておらず、また新規抗骨髄腫薬時代における形質細胞性白血病の詳細な予後も不明な点も多い。そのような背景で、我々は最近 2 例の一次性形質細胞性白血病を経験し、その詳細な臨床データを解析し、治療や臨床経過についての考察をする。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

2023 年第 85 回日本血液学会学術集会において、結果を発表する。

対象者・期間

当院にて 2023 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに経験された一次性形質細胞性白血病の患者さま 2 例。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：黒羽高志

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)